

博多織元・株式会社岡野直営店 きもの 博多一十

失われて行く「博多献上柄」の本来の意味を伝えるために

昨年に引き続き、博多献上柄の新色浴衣を製作

博多織織元の株式会社岡野（那珂川町片縄東 1-6-21 代表取締役社長：岡野博一）が運営する博多織専門店「きもの博多一十（いちじゅう）」では昨年に引き続き、オリジナルの浴衣「博多献上浴衣」の2010年新色を製作しました。昨年3配色で展開したところ、非常に人気があり即完売となったため、今年は色数を増やして6配色での展開です。（来年以降も毎年新色新柄を発表していく予定）さらに今年は、この献上浴衣にコーディネートできる、オリジナルデザインの博多織小袋帯も製作しました。

博多織産業は最盛期から比べると10分の1以下に生産が落ち込み、昨今の不況の煽りを受け大変な状況に見舞われています。活性化のための第一歩として、まずは地元の方に博多織を再度認識してもらうことが大切だと思い、着物の入り口として一番親しみやすい浴衣に注目し、昨年より製作を始めました。

博多献上柄の本来の名称は「独鈷・華皿紋様」と云われ、1241年に博多織の開祖・満田弥三衛門に承天寺の開祖・聖一國師が仏具に用いられている独鈷と華皿をモチーフにしてデザインした柄を提案したことが由来とされています。その後、黒田長政がこの柄の帯に着目し、徳川家康に献上したことから「献上博多」の名称が誕生しました。献上柄には、先祖を敬い、親孝行をし、お互いに助け合い生きていくという根本的な教えが祈りとして織り込まれていますが、現在の人々は忘れ去ってしまっています。浴衣の柄を通じて本当の博多献上柄の意味がより多くの人々に伝わっていくことを期待しています。

■『きもの博多一十オリジナル・博多献上浴衣』について

『きもの博多一十オリジナル・博多献上浴衣』は、福岡の伝統的工芸品である博多織の柄「博多献上柄」をモチーフに制作した染めの浴衣です。今までにも献上柄の浴衣は商品化されていましたが、お祭りや旅館での浴衣として用いられることが多く、お洒落な色柄の浴衣はありませんでした。弊社では夏に浴衣としてだけでなく、夏の着物としても着ることができる浴衣、そして献上柄のデザインと意味のすばらしさを、地元の皆様に知っていただきたいという想いで製作しました。

■「博多献上」とは？

筑前黒田藩の初代藩主黒田長政により徳川幕府への忠誠の印として、博多に古くから伝わる独鈷に華皿柄の博多織を献上品に選び献上することになり「献上博多」の名称が誕生しました。

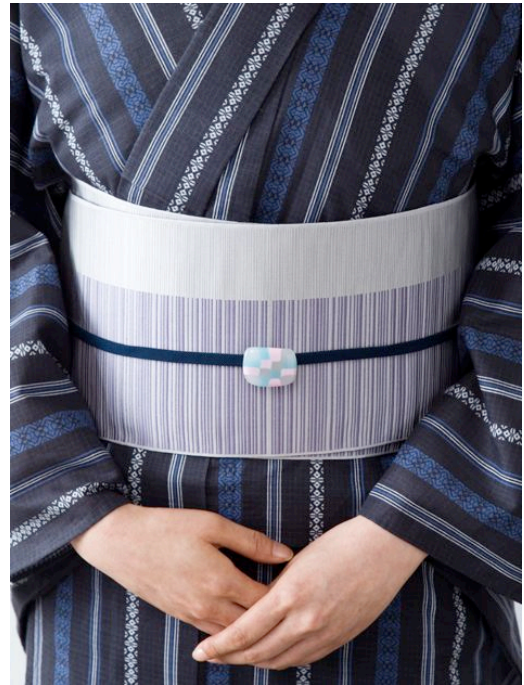
独鈷・・・真言宗で使用する、煩惱を打ち砕く法具

華皿・・・法要のときに散布する花を盛る器

子持縞・・・親が子を守る姿を表現

孝行縞・・・子が親を守る姿を表現





<商品概要>

『きもの 博多一十オリジナル・博多献上浴衣』 1柄6配色

■商品仕様：反物（巾約39cm、長さ約12m）綿紅梅（綿100%）染め

浅葱色（あさぎいろ）、若菜色（わかないろ）、薄梅鼠（うすうめねず）、薄藤色（うすふじいろ）、
黒鼠（くろねず）、墨（すみ）

■価格：48,000円（税別、仕立て代別）

『きもの 博多一十オリジナル・博多織小袋帯』 2柄各3配色

■商品仕様：小袋帯（巾約16cm、約3.8m）、絹100%

■価格：30,000円（税別、仕立て代別）

■発売日：2010年4月23日

■販売元：1897年創業 博多織元 株式会社岡野

■販売店舗：（株）岡野 直営店 きもの 博多一十

■この件に関するお問い合わせ先■

株式会社岡野 きもの 博多一十（いちじゅう）

担当：角（すみ）不在の場合は竹田

福岡市博多区中洲5-1-22 松月堂ビル3階

TEL：092-283-8111 FAX：092-283-8123

ホームページ：<http://www.hakata110.com>

電子メール：info@hakata110.com